

対面形式
&
LIVE配信

久留米大学バイオ統計センター 公開セミナー

臨床家との橋渡し：エスティマンドの概念を アカデミアの現場に浸透させるには

統計的因果推論の枠組みから議論が進んだ「エスティマンド」は、臨床試験立ち上げ時に生物統計家が関与するものと思われがちである。その点は間違いないのだが、近年、議論が進み、「エスティマンド」は統計家から研究者に責任の所在がシフトした。「エスティマンド」はプロトコルの中で、統計に関する章から独立して記載されることが、そのことを端的に示している。ICH-E9(R1)に対するアカデミアでの対応が間近となった今、私自身が研究者であり、また臨床研究の支援を行う生物統計家(の端くれ)であり、また薬事も担当することから、俯瞰的な立場で解説したい。

船越 公太

九州大学病院
ARO次世代医療センター
助教・データセンター長



2022年10月27日(木) 18:00-19:30

久留米大学 バイオ統計センターコンピュータ室 (医学部B棟7階)

下記URLまたはQRコードより、前日10:00までにお申込みください。

<https://biostat-kurume.stores.jp/>

WEB
申込方法

お問い合わせ 久留米大学バイオ統計センター公開セミナー係
biostat_seminar@kurume-u.ac.jp

